

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼や毎月のミーティングで、開設時に作られた理念の大切さを確認している。また、ケアの現場で何らかの検討を要する場合など、常に理念に立ち返りながら対応している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区会に加入しており、六月灯の灯籠作りやお祭りに参加したりしている。利用者家族や近隣の方々とのバーベキュー大会を開いたり、消防訓練に近隣の方や、地区の消防団員に参加していただくなどして交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	職員全員が認知症サポーターの講習を受講しているが、地域貢献への機会が少なく、見学者、訪問者、ご家族の方々へ認知症の方への支援方法について話しをさせていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の日々の状態報告（事故報告や健康状態・生活状況など）を毎回行っており、それについての話し合いを行い、更に緊急時対策の話し合いはよく議題にあがっており、消防訓練に反映されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から、市町村とは連絡を取り合い、協力関係を築くようにしている。運営推進会議時や困りごと等相談させて頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を中心として毎月のミーティング時に勉強会や報告を行っている。何が身体拘束に当たるか、常に確認も行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行って虐待について学び、ミーティングや毎日の介護現場の中でも虐待が行われていないか、お互いに常に確認し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等で権利擁護に関する制度を理解する機会を持っている。また、利用者の中には成年後見制度を利用してしている方も実際あり、必要時は後見人に相談する等して対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に運営規定・重要事項の説明を行い、確認を頂いている。契約の締結、改定等の際は、文書で説明、疑問点については、十分な補足を説明の上、理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者からの意見・要望は常に真摯に受け止める姿勢を持ち、表しやすい環境を作っている。また、ご家族が面会に来られた際には積極的に話をする機会を作り、意見や要望の把握に努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の意見や提案はミーティングや朝礼で話し合い、運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は全ての職員の現状を把握し、安心して働ける職場環境を整えている。また、現場の意見を尊重して、よりよい職場環境となるよう働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、管理者や職員一人ひとりの能力を把握するよう努め、研修について職員へ紹介し、希望する研修受講費は事業所が負担するなど配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会に加入しており、交代で交流会に参加し学ぶことで、サービスの質を向上させられるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に信頼関係を築けるように利用者様とコミュニケーションをとり、困っている事・不安に思っていること・希望等を伺いながら、安心して過ごせるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の方の要望・困っている事を入所の段階でよく聞きとりを行うようにしている。また、ご家族の方が面会に来られた時には日頃の様子を伝え、安心して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の状況や本人と家族の思いや要望の聞きとりを行い、本人のその時の状態をよく観察して必要とされる支援を見極め、支援できるように努力している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一つの家に暮らす家族のような関係を持ちながら、本人が出来ることはやってもらっている。出来ないことは職員が介助して、助け合い支え合う関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月届ける郵便物で情報提供をしたり、面会時は日頃の出来事や様子を、状態変化時はその時の状態を直ぐに伝えるようにしている。また、ホームの行事に参加して頂けるように働きかけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に関しては、可能の限り行え、楽しく一緒に過ごせるように配慮している。利用者様が手紙や電話の利用に際して困っていることがあった場合は、サポートに努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく利用者間で問題が起こらないように一人ひとりの性格を把握して、手伝いの出来る人が出来ない人の手助けをして頂けるように声かけを行っている。又、相性の悪い人同士は席替えをするなどして、全体として良好な関係が保てるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、入院先に尋ねて行って励ましたり、家族からの相談があればそれに応じて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを行う前に本人・家族に思いや暮らし方の希望、意向を聞いている。表現ができない方は、職員間で話し合ったり、家族に相談したりして、本人の意向に近づけるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にはプライバシーに配慮しながら、可能な限り本人・家族・前担当のケアマネージャー等から情報収集を行い、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ一人ひとりが利用者の状態を観察して現状の把握を行っている。それを朝礼やミーティング等で報告し合ったり、連絡帳に記することでスタッフ全体が把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族からの希望と関係者の意見を取り入れた介護計画を作成している。利用者の身体的状況の変化時には臨機応変に見直せるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録へ生活の状況、ケアの実践や結果、本人の言動をもとにスタッフが気づいたことなどを記している。必要に応じ、24時間シート、連絡帳を利用して職員間で情報を共有して介護計画にも反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態・家族の状況はそれぞれであるため、必要な支援に対し、臨機応変に対応していくように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の催し物の情報を頂き、活用する方法を考えて活用させていただいている。また、定期的にマッサージや美容サービスを定期的に利用して日々の暮らしのなかに潤いができるように配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に本人、家族の意向や受診状況などを確認して、希望するかかりつけ医の受診・往診の依頼を行っている。また、運営母体のクリニックの医師の診療と医療連携も受けれるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の介護支援の中で得られた状態変化の情報を見逃がさず、看護職員や訪問看護師に伝えて相談し、利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院した場合、必要な情報を病院関係者に提供して安心して治療できるように努めている。また、通院時の付き添いなどの際は病院関係者と良好な関係を築けるように努力している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>当施設では看取り介護の指針を定めており、入所当時から本人・家族にその説明を行うとともに、介護に対する意向を伺い方針を定め、医療と協働して方針に沿って介護に当たっている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会や研修等で利用者の急変時や事故発生時の応急手当や初期対応の仕方を習得できるように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	土砂災害時、火災時の避難マニュアルを作成して、地域の消防団・近隣住民・利用者の家族に協力を頂き、実際に訓練を行っている。その上で、反省点、注意点を挙げて改善可能な箇所を改善して全職員が把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護マニュアルを使った勉強会を開いて、全職員が利用者のプライバシーに配慮した介護への意識を高めている。介護現場で実践出来ていない職員にはお互いが注意し合うことで利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話の中で、自然に利用者の思いや希望が聞き出せるように問いかけを行って働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの趣味や楽しみを活かし、個々のペースを大切にして日々支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者の以前からの習慣を尊重して、その人らしい身だしなみや着慣れた服を準備するなど出来なくなったことを手伝い支援している。また、2ヶ月に1回床屋が来訪して散髪ができるように支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本メニューをアレンジしてリクエストのものに仕上げたり、野菜の下ごしらえを座ってできるように準備してやってもらったり、片付けの一部を手伝ってもらうなどして利用者も一緒に食事作りに関わり、楽しみをもてるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は好みや嚥下機能に配慮した硬さや形状・熱さのものを提供している。また、栄養面では管理栄養士が作成したメニューに従って作っており、水分は十分な量が確保できるように食事やお茶以外にも白湯を飲水ボトルに常時準備して飲んでいただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの口腔ケアの能力に応じて、声かけだけの方・誘導と見守り・全介助等の方法で毎食後口腔内の清潔が保てるように支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを観察してその状態に応じて、トイレやポータブルトイレの使用を支援している。排泄の訴えがない方は排泄パターンを把握するようにし、声かけや誘導を安全に行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	24時間排便チェック表と水分摂取管理表に記入して、一人ひとりの排便管理を行っている。便秘の状態に応じて、医療と連携しながら内服薬や坐薬の調整を行い、十分な水分摂取や運動の働き掛けを行っている。また、腹部湯熨法や腹部マッサージも実施して便秘対策を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的な入浴日の設定はあるが、その日の体調及び状態など必要に応じて、いつでも入浴していただいている。入浴の時もゆっくりとくつろげる時間となるように配慮している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の生活の中でホールで過ごす以外は、居室でゆっくり思い思いの時間を過ごせるようにしている。特に夜間は居室内の明るさや室温・湿度に配慮し、寝具は季節に応じて変え・カバーは週一回取り替えて清潔を保てるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ほぼ全員の方が服薬しており、一人ひとりの薬の目的・用法・容量が把握できるよう努めている。各個人の薬剤説明書はいつでも確認できるように配置している。また、観察を怠らず、副作用や状態の変化に気づけるよう職員一貫で取り組んでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や興味を活かして、レクリエーションや創作活動に取り組めるよう支援している。また、残存能力を活かして出来る手伝いをやっただくことで、張りのある生活になるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの心身の状態や希望によって対応はまちまちであるが、付き添って自宅に帰ったり、天気の良い日は散歩やドライブに出かけたりと楽しみをもって、生き生きと過ごせるよう支援している。職員の付き添いが難しい場合は、家族の方へ連絡して、一緒に出かけられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理ができない方がほとんどのため、家族・本人の理解を得た上で一定のお金を管理者の方で預かり、必要に応じて支払いの支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話が掛けられるようにホールに公衆電話を設置している。電話をかける方には必要に応じた手伝いを行っている。また、家族などからかかってきた電話は、スムーズに利用者に繋げるよう支援して。手紙のやり取りを希望する利用者には、はがきや切手等の購入の支援や発送等の支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が快適に居心地よく過ごせるよう配慮し、時期に応じて室温・湿度調整を行っている。また、季節の花を飾ったり、利用者と協力して作った季節の壁飾りなどを飾るなどして生活の中に、季節感を取り込めるように努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりが気兼ねなく過ごせるように、強制にならない程度で好みのレクリエーションを提供したり、音楽やテレビを流して自由に過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には本人にとって馴染みのものや、好みの物を置くなどして、安心して居心地よく過ごせるように配慮している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	「できること」「わかること」が活かせるように、トイレの表示を工夫したり、各居室のドアに付けている氏名の表示の仕方を変えたりするなどしてしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない